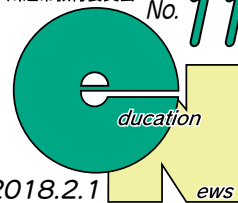


市教委だより

Kawagoe City Board of Education News

川越市教育委員会

No. 113



2018.2.1

ews



遠い歴史に思いをはせて
「河越流鏑馬」

- ◆4月から新学習指導要領移行期間が始まります／
ご存知ですか? 社会教育委員 2
- ◆川越子どもサポート事業の活動が文部科学大臣表彰を受賞／
子どもサポート発表会・「小江戸見つけ隊」全作品展示会 ... 3
- ◆新入生の1年間 4～5
- ◆教育相談Q&A／給食で使用する自慢の川越産!! 6
- ◆子どもが参加できる各種講座／
むかしの勉強・むかしの遊び展 7
- ◆知っ得! 文化財 8

川越市マスコットキャラクター
ときも



11月18日に国指定史跡河越館跡で「河越流鏑馬」が行われました。

上戸・鯨井地区にある河越館跡は、今からおそよ800年前、鎌倉時代に活躍した中世武士河越氏の居館跡です。この催しは国指定史跡である河越館跡の活用事業として、鎌倉時代に行われていた流鏑馬の様子を今に再現しようとするものです。

狩装束をまとった射手が馬上からの的を射抜くと、会場から大きな歓声があがっていました。

フォトニュース



川越市子ども会かるた大会開催

11月12日、川越運動公園総合体育館で「かわごえ郷土カルタ」を使った第15回川越市子ども会かるた大会が開催されました。

当日は、川越市子ども会育成団体連絡協議会に加盟している26小学校区の子ども会から344人の選手が参加し、白熱した試合が繰り広げられました。また、子ども会のジュニアリーダーの皆さんが審判や運営スタッフとして活躍していました。

高学年の部の団体と個人ともに上位4チームは、川越市の代表として3月に開催される県大会に出場します。



冬休み宿題大作戦! 「書き初め教室」開催

1月5日、川鶴地域推進会議主催の「書き初め教室」が開催されました。川鶴公民館利用グループと地域ボランティアの方々にご協力をいただき、小中学生の全学年を対象とした「書き初め」の指導等が行われました。当日受付の自由参加のところ、前年を上回る38人の参加があり、楽しみながらも真剣に取り組む様子が見られました。

このような教室を通して、世代間交流を促すとともに公民館を身近な施設と感じてもらふことは、地域の将来の担い手育成にも繋がることと期待できます。

4月から新しい学習指導要領の実施に向けた

移行期間が始まります



平成29年3月新しい学習指導要領が告示されました。小学校では東京オリンピックが開催される平成32年度から、中学校では平成33年度から全面実施されます。

それに伴い、新学習指導要領への移行のための期間が4月よりスタートします。小学校では「特別の教科 道徳」、さらに、3・4年生では「外国語活動」が始まります。

「特別の教科 道徳」

平成27年3月、これまで小・中学校で週1時間行われてきた「道徳」の時間を「特別の教科 道徳」として新たに位置付けることが決まりました。「答えが一つではない課題に子どもたちが道徳的に向き合い、考え、議論する」ことを通じ、児童生徒の道徳性を育むことなどをねらいとしています。

道徳は、学級担任が担当することが望ましいと考えられること、数値などによる評価はなじまないと考えられることなど、各教科にない側面があるため、「特別の教科」という新たな枠組みが設けられました。

教科化に伴う主なポイントは次のとおりです。

- ① 道徳の教科書を使用します。
- ② いじめの問題への対応を充実させ、子どもたちの発達段階をより一層踏まえた授業を行います。
- ③ 問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れた授業を行います。
- ④ 数値ではなく、児童生徒の心の成長の様子を認め、励ます評価を文章で行います。

「外国語活動」

3・4年生は、年間15単位時間、外国語活動を行います。教材は文部科学省が作成している新学習指導要領に対応したものを一部使用します。

世界には様々な言葉があり、日本語とは言葉の成り立ちや音声に違いがあることなどを学ぶとともに、身の回りにあるアルファベットに気付くことやまとまりのある話を聞くことを通じて、文字の読み方や特有の表現に慣れ親しみます。

5・6年生は、年間の学習時間が15単位時間増え、50単位時間行います。新しい「外国語科」の内容を一部扱い、現行教材と新学習指導要領に対応した教材を併用し、中学校との接続を踏まえた言語活動が行われます。

「存知ですか？」 社会教育委員

社会教育は暮らしのなかに

皆さんは、地域の活動で公民館や図書館、博物館を利用したことがありますか。これらの施設は、社会教育施設と呼ばれるもので、私たちにとって身近な学習施設です。

また、多くの方にご協力をいただいているPTAや育成会、自治会などが行う活動は社会教育の活動といえます。

学校教育は、学習指導要領に基づいて学習が進められていますが、社会教育に求められるあり方は、地域の風土や人々の暮らしに合わせて様々に変化するものです。

では、このような中で社会教育活動やそれを支援する行政はどうあるべきなのか。教育委員会から委嘱された、様々な立場の市民の代表者である「社会教育委員」には、日常の活動とともに、行政へ提言を行うなどの重要な役割があります。

昨年9月末、前期の社会教育委員協議会(任期・平成27年10月1日～平成29年9月30日)から教育委員会へ、活動報告書「実践する社会教育委員の新たな期待と誓い」が提出されました。

変化の激しい現代社会では、学校・家庭・地域、そして行政が手を取り合って、より一層、地域の教育力の活性化を図ることが大切です。

社会教育活動により地域に生まれた絆は、やがて教育にとどまらず、様々な分野に大きく貢献することでしょう。

10月1日から、新たな社会教育委員21名が委嘱されました。地域の課題やニーズをキャッチして行政と地域をつなぐ社会教育委員の活動にご期待ください。

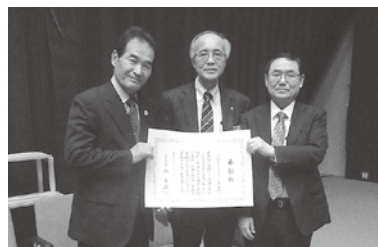


市民の代表、公募委員も活躍中！

川越子どもサポート事業の活動が文部科学大臣表彰を受賞

川越子どもサポート事業の活動が、「平成29年度『地域学校協働活動』推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞し、12月7日、文部科学省で行われた表彰式にサポート本部長と地区委員長2名が出席しました。この表彰は、「地域学校協働活動」のうち、他の模範と認められる活動の功績を称えるものです。市内児童生徒の志高く健やかな心身の成長のため、地域の協力のもと、幅広く活動したことが評価され、表彰に至りました。

受賞の報告を川越市子どもサポート本部会議にて委員に報告したところ、各地区の委員長は「長年続けてきてよかった」とこれまでの活動が認められたことを共に喜んでいました。



左から山田地区委員長・中島利一さん、サポート本部長・遠藤克弥さん、中央南地区委員長・奈良明英さん

川越子どもサポート事業について

川越子どもサポート事業は、子どもたちの豊かな人間性や社会性など「生きる力」を育むため、人と人とのネットワークを構築しながら、地域ぐるみで子どもたちを育てる体制を作ることと目的とした事業です。市内を14の地区に分け、学校、家庭、地域及び社会教育施設が連携・協力して取り組んできた活動は今年で14年目を迎えます。

具体的な活動内容は、学校教育を支援すること子どもたちを育てる「学校応援団活動」と、様々な体験活動を提供し、子どもたちを育てる「地域の特色を生かした事業」を2本の柱としています。「学校応援団活動」では、

児童生徒の登下校の見守り、学校ファーム等の整備、家庭科のミシン補助、生活科における田植え体験等、各学校で多種多様な活動が頻繁に行われています。「地域の特色を生かした事業」では、子ども文化祭、ホテル観賞会、寺子屋教室、料理教室等、地域の特色を生かした活動が行われています。

年度末には、活動内容を広く周知し、それぞれの地区の活動内容を更に充実させることを目的とした「川越子どもサポート発表会」を開催しています。また、川越のよさや地域とのふれあいを題材に、市内児童生徒が作成した新聞・絵画・作文を募集し展示・発表・表彰までを行う子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」を実施しています。



大東地区
「子どもフェスティバル」



芳野地区
「こんにちは赤ちゃん事業」

子どもサポート事業については地域教育支援課までお問い合わせください。

川越子どもサポート発表会

子どもたちのために、学校・家庭・地域が連携して取り組む「川越・地域子どもサポート事業」。より良い活動を目指し、それぞれの取組が紹介されます。

期 日 2月17日(土)

時 間 午前9時30分から午前11時45分まで

会 場 川越市やまぶき会館

<主な内容>

- 今年度の活動発表(芳野・中央北・霞ヶ関地区)他の11地区の活動をスライドショーで紹介
- 子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」金賞受賞者の発表・表彰
- 入賞者の作品40点をロビーに展示

子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」全作品展示会



▲写真は昨年度の様子です

子どもサポート発表会で表彰された作品をはじめ、3つの部門(作文・絵画・新聞)の応募全作品1,523点を展示します。

期 日 2月21日(水)～2月25日(日)

時 間 午前9時から午後5時まで

※最終日は午後3時までなので、入場は午後2時30分までをお願いします。

会 場 川越市立美術館市民ギャラリー
(川越市郭町2-30-1)

新入生の1年間



昨年4月、元気に入學してきた1年生たちも、もうすぐ2年生。しっかり勉強し、いろいろなことを体験して成長した1年間を、芳野小学校の活動をもとに紹介します。



1年間の主な行事

1学期

- 入学式
- 1年生を迎える会
- 全校遠足
- 学校探検
- 新体力テスト
- 運動会
- 校内硬筆展
- プール開き

2学期

- 虫捕り
- 生活科見学
- 獣医さんの出前授業
- よしののひびき
- にこにこまつり
- 歯科保健指導
- 校内持久走大会
- もちつき大会

3学期

- 校内書き初め展
- 幼稚園との交流会
- 感謝集会
- 6年生を送る会
- 修了式



入学式 4月

満開の桜の下、大きなランドセルを背負って、50名の新入生が入学しました。これから始まる小学校での生活にドキドキワクワクしながら、教



全校遠足 4月

たてわりグループのお兄さんお姉さんと一緒に伊佐沼冒險の森に行きました。公園まで歩くのは大変でしたが、みんなでオリエンテーリングをしたり、アスレチックで遊ん



1年生を迎える会 4月

2年生が作ってくれた冠のプレゼントを頭にのせ、6年生と手をつなぎながら、笑顔で入場しました。朝顔の種のプレゼントや歓迎の呼びかけを受けて、みなさんでお礼の言葉と歌を披露しました。



学校探検 5月

1回目は、2年生がリードして校内のいろいろな場所を案内してくれました。2回目は、1年生だけで地図を見ながら探検し、校長先生や事務の先生、特別教室の担当の先生に質問しました。



だりして、楽しい時間を過ごしました。



**侍ジャパンU-15代表
アジア選手権大会で優勝！**
城南中学校3年 米永大基君
市長表敬訪問
11月1日から5日にかけて静岡県伊豆市・志太スタジアムで「第9回BFA U-15アジア選手権（主催 アジア野球連盟）」が開催され、侍ジャパンU-15代表が5戦全勝で4大会ぶり2度目の優勝を飾りました。
U-15代表に選ばれアジア大会に出場した城南中学校3年 米永大基君が、12月21日、川合市長を表敬訪問し、大会での優勝を報告しました。米永君は5試合すべてに出場し、内野手として活躍しました。また、城南中学校野球部ではエースで、副部長を務め、チームのまとめ役を担いました。「野球を続けていきたい、高校野球で活躍するのが夢」と語っていました。

運動会 5月



ゴールまで走りきった6メートル走。リズムに合わせて元気よく踊った「よいいドン！君と一緒に一歩ずつ」。チェッコリ玉入れ。赤白に分かれて、全校お助け綱引きや応援合戦、大玉送りも全力でがんばりました。

虫捕り 9月



生活科の勉強で、学校の近くの草むらに虫捕りに行きました。バッタやカマキリ、コオロギやテントウムシなど、虫捕り網や手を使って、上手に捕まえました。学校に帰ってから観察して絵を描いたり、家で育てたりしました。

生活科見学 9月



バスに乗って、こども動物自然公園に行きました。コアラやカンガル、カピバラを見たり、ウサギやモルモットをだっこしたり、牛の乳搾り体験をしました。キリンやペンギンなどたくさん動物を見ることができました。

獣医さんの出前授業 9月



獣医さんに、ウサギのことを教えてもらいました。なぜ目が赤いのか、耳が長いのか知ることができました。聴診器で心臓の音を聞いたり、ウサギをだっこしたりしました。ふわふわで、温かい触り

心地に優しい気持ちになりました。

よしののびき 10月

みんなで気持ちを一つにして元気いっぱい「きつとできる」の斉唱と、鉄琴やずき、鍵盤ハーモニカなどで「きらぼし」の合奏をしました。6年生のよしの太鼓の迫力に驚きました。演奏家を招いた音楽鑑賞会もすてきでした。



歯科保健指導 11月

歯医者さんから正しい歯の磨き方を教わりました。カラーテスターで染め出しをした後、磨き残しを鏡で確認しながら、歯の裏側まで丁寧に磨きました。歯の大切さを知ることができました。

校内持久走大会 11月

スポーツタイムや体育の授業、休み時間に一生懸命練習に取り組んだ持久走大会。長い距離を走るのは苦しかったけれど、おうちの方や地域の方々からの温かい応援を受け、全員が最後までしっかりと走り切ることができました。



もちつき大会 12月

P.T.Aや地域の方々にご協力いただいて、もちつきをしました。「よいしょ、よいしょ」と掛け声を掛けて、1人10回ずつ、きねでおもちをつきました。つきたてのおもちはとてもおいしかったです。

「次代に語り継がれるレガシー」創出事業「教育プログラムを実施」

12月4日、県教育委員会から「次代に語り継がれるレガシー創出事業」の研究校に指定された霞ヶ関西中学校の生徒を対象に、教育プログラムが実施されました。この教育プログラムは、アスリートたちの活躍を舞台裏から支える「スポーツを支える」ということの素晴らしさやゴルフ競技の魅力を触れること、努力を尊ぶ態度を養い今後の学校生活に活かすこと、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成を図ることを目的に実施されました。生徒たちは講演会で講師の方の体験やエピソードを聴講したり、プロによるデモンストレーションを見学した後、プロからレッスンを受け、実際にシヨットを打ちました。はじめはゴルフ競技を体験する生徒も多く、楽しみながらも真剣に取り組む姿が見られました。



教育相談Q&A

◆集中することが苦手で自分勝手な行動をとりがちな小学生

【Q】小学校二年生の男の子の母親です。授業中、先生の話を集中して聞くことができず、自分の好きなことをしてしまいます。また、友達とのコミュニケーションが上手くとれず、けんかになることもあるようです。今後、学習や生活が皆と一緒にできるか心配です。どうしたらよいでしょうか。

【A】小学校低学年は、何事においても興味・関心が高く、意欲旺盛で活発な時期です。ただ、話を集中して聞けず指示を聞き逃したり、友達と仲良くできなかったりすると、授業中や休み時間に困ることが増えて、お子さんの自信が失われてしまうことが心配されます。お子さんがもっている良さを伸ばしつつ、困難さを克服しながら成長できることが望ましいと考えます。

そのために、次の点を考えてみながら克服すべき困難さに対応してみてはいかがでしょうか。

①視覚的に工夫して、集中が持続しやすい環境作りをしましょう。

話を集中して聞くことが苦手なお子さんは、言葉での指示や説明だと伝わりづらい可能性ががあります。話すだけでなく、内容を文字や絵にしてメモに書き残すなど、視覚的に分かるよう工夫すると理解

しやすくなります。また、視界に入る様々なものに意識が向きやすく、集中できない場合もあります。集中して取り組むには、注意が分散しにくい環境づくりが必要になります。使うものだけ出す、掲示してあるものを最低限のものにするなど、視界に入る情報を減らすと集中しやすくなるでしょう。担任に相談し、座席の位置を配慮してもらうといった方法もあります。お子さんの特性を知り、それに応じて、学校と協力して対応していきましょう。

②気持ちのコントロールができるよう、具体的な方法を教えましょう。

気持ちの伝え方を知らないことや、「自分がやらなければいけない」「間違えてはいけない」という考え方を強くもってしまう傾向があるならば、「頼み方」「謝り方」などを教えることも一つの方法です。また、「お願いしてもいいんだよ」「誰でも間違えることがあるよ」と、繰り返し話して、じつくりと成体験を積み重ねてあげることも大切です。自分の気持ちをコントロールできたときには、必ず認め、褒めてあげましょう。

お子さんにとって困難なことについては、学校の先生も把握しています。授業中の支援など、気になることがありましたら、まず学校に相談し、一緒に考えていくことが大切です。

◆教育センター分室(リベラ)では、教育に関する様々な相談をお受けしておりますので、ご利用ください。

教育センター分室(リベラ)

住所 川越市市場2649の1

面接相談(予約制) TEL 234-83333

電話相談 TEL 234-83335

給食で使用する自慢の川越産!!

～川越産野菜の紹介～

今回紹介するのは
みずな



川越市マスコットキャラクター
とさも



米粉めんとみずなスープ(右碗)

水菜の旬は12月～3月で、今が一番おいしい時期と言われています。野菜が不足しがちな冬場に収穫できることもあり、古くから親しまれてきた『京野菜』のひとつです。本来はピリッと辛みのある水菜ですが、最近では品種改良が進み、茎もやわらかく、生でも食べられる辛みの少ないものが全国で売られるようになっています。

学校給食では福原地区で収穫された水菜を、調理員が泥などを丁寧に洗い落とし「米粉めんとみずなスープ」などで使用しています。見た目は細くて繊細ですが、実は緑黄色野菜。含まれるカルシウムはなんと小松菜の1.3倍！成長期の子どもたちだけでなく、大人の骨粗しょう症予防にもおすすめです。ご家庭でも取り入れてみてはいかがでしょうか。

【菅間学校給食センター下処理室にて】シンクに水をはり、洗っては次の槽へと順に移し、4回洗っています。

2月～3月に子どもが参加できる各種講座など

講座名・催し名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
アニメ映画会 「注文の多い料理店」ほか2作品	2月11日 13時30分～	○	中央図書館 TEL222-0559 FAX224-7822
子ども映画会 「ピーターパン(吹替え)」	2月17日 13時30分～	○	
アニメ映画会「忍たま乱太郎-武 道大会の段・麗しき友情の段-」	3月10日 13時30分～	○	
子ども映画会 「きつねの窓」ほか2作品	3月18日 13時30分～	○	
はるのおはなし会	3月27日 15時～		
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		西図書館 TEL237-5660 FAX237-5661
にちようおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～		川越駅東口図書館 TEL228-7712 FAX228-7713
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		高階図書館 TEL238-7550 FAX238-7551
ぬいぐるみおとまり会とおはな し会	3月7日 15時30分～ 申し込み=2月7日、9時30分から来館または電話(定員10人)		
子ども体験教室 「むかしの道具を使ってみよう」	2月10日・17日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分		博物館 TEL222-5399 FAX222-5396
子ども体験教室 「弥生機で真田ひもを織ろう」	3月3日 10時～15時30分(12時～13時30分休憩) 申し込み=2月14日、9時から電話またはファクス(定員15人)		
子ども体験教室 「和紙作りに挑戦」	3月10日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=2月20日、9時から電話またはファクス(定員各回15人)		
子ども体験教室 「わら細工に挑戦」	3月17日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=3月2日、9時から電話またはファクス(定員各回10人)		
季節のあそび ～テラコッタを作ろう～	3月10日 10時～11時30分 申し込み=2月8日、10時から電話、ファクスまたは直接来館(先着30人)	○	大東南公民館 TEL242-0498 FAX240-1755
春休み子ども映画会	3月27日・28日 10時30分～12時	○	
障がい者親子太極拳教室	3月4日 10時～11時30分 申し込み=2月7日、10時から参加費 100円を添えて直接来館(電話、ファクス可)(定員10組)	○	名細公民館 TEL231-0001 FAX239-1166
おはなし会	3月1日 10時～10時40分		高階南公民館 TEL245-3581 FAX240-1752
子ども卓球広場	2月3日、3月3日 13時30分～15時30分		
子ども囲碁将棋広場	2月17日、3月17日 9時～11時	○	
人形劇フェスティバル	3月11日 10時30分～11時30分		
土曜子ども映画会	3月17日 10時～11時		
ジュニアスキー教室	3月16日(20時発)～18日(19時頃着) 会場=長野県菅平高原スキー場 申し込み=2月13日必着でハガキ *詳細はスポーツ振興課へお問い合わせください。	○	スポーツ振興課 TEL224-6094 FAX224-8712
ジュニアアーツスクエア3月	3月24日 申し込み=3月1日、9時から電話またはファクス(定員20人)		美術館 TEL228-8080 FAX228-7870

* 日時・申し込み方法等は、変更になる場合があります。詳細につきましては、お手数ですが各施設へお尋ねください。

* 〇の講座は、事前に申し込みが必要です(他は当日直接参加)。また、特に記載がない場合、会場は問い合わせ先の施設です。

* 「中学生」の欄に○がついている教室は、中学生にもお勧めの講座です。

博物館「むかしの勉強・むかしの遊び展」開催中!

「むかしの勉強・むかしの遊び展」では、昭和30～40年代を中心に、電化製品の普及による生活の変化を、収蔵資料でご覧いただけます。学校の教室や家族団らんの居間、駄菓子屋の店先が再現されるだけでなく、今年度の展示では、実際に「触れる」展示や夏の夜の必需品「蚊帳(かや)」などがあります。

展示期間中には全市立小学校の3年生が、この展示を活用して社会科「川越市の人々のくらしのうつりかわり」の学習を行っており、特別展示室で冷蔵庫の「今とむかし」について博物館職員のミニ授業を受けたり、再現された大型展示で調べ学習をしたりしています。また、体験学習室では洗濯板を使った洗濯や炭火アイロン、石うす等を学習アドバイザーと一緒に体験し、「今とむかし」の道具を比較しながら、人々のくらしの移り変わりに想像を巡らせています。



<第28回 むかしの勉強・むかしの遊び展>

2月25日(日)まで開催中です。

10日(土)と17日(土)には、子ども体験教室「むかしの道具を使ってみよう」(予約不要)を開催します。ぜひ、ご家族でお越しください。

詳しくは、博物館までお問い合わせください。

TEL 222-5399



し 知って 得 ぶん 文化財 第38回

このコーナーでは、子どもたちにわがまち川越のことを知ってほしいとの思いから、川越の文化財をわかりやすく紹介します。

「ハニワのふるさとを探して ～南大塚4号墳の男子ハニワ～」

市内豊田本にあった南大塚4号墳は、今から1,400年くらい前に造られた前方後円墳です。この古墳からは、ずきんを被ったおしゃれなハニワが発見されています。このハニワはどこで焼かれたものなのでしょう？



男子ハニワ 南大塚4号墳出土
(市立博物館で展示中！)

南大塚4号墳は市内豊田本にあった全長40mの前方後円墳です。昭和61年に発掘調査が行われ、人物や馬、家や大刀などたくさんのハニワが出土しました。左側の写真の人物ハニワはその中の一体です。

この人物ハニワは最初は古墳の上に置かれていたものですが、長い間に古墳のまわりの堀に落ちて壊れ、頭の部分だけが発見されました。性別は男です。頭には袋のようなずきんを被り、耳にはイヤリング、首にはネックレスをつけており、なかなかおしゃれです。髪は後ろで束ねて長く垂らしています。

この男子ハニワはいったいどこで作られたのでしょうか。実は埼玉県内ではハニワを焼いた登り窯の跡が何ヶ所か見つかっています。その中には南大塚4号墳と同じようなずきんを被った男子ハニワを焼いていた登り窯もあります。それが鴻巣市の生出塚埴輪窯跡です。

ここで焼かれた男子ハニワが右下の写真です。どうです、似ていますか？生出塚埴輪窯跡は行田市のさきたま古墳群のハニワを焼いていたハニワの大規模工場の遺跡です。ここで焼かれたハニワは遠く千葉県市原市の山倉1号墳にも運ばれています。南大塚4号墳の男子ハニワもこの生出塚埴輪窯跡で焼かれ、はるばる運ばれてきたものと考えられます。

ここで焼かれた男子ハニワが右下の写真です。どうです、似ていますか？生出塚埴輪窯跡は行田市のさきたま古墳群のハニワを焼いていたハニワの大規模工場の遺跡です。ここで焼かれたハニワは遠く千葉県市原市の山倉1号墳にも運ばれています。南大塚4号墳の男子ハニワもこの生出塚埴輪窯跡で焼かれ、はるばる運ばれてきたものと考えられます。



男子ハニワ 生出塚埴輪窯跡出土
(写真提供：鴻巣市教育委員会)



ハニワ工房の想像図

(図：山川百合江 提供：鴻巣市教育委員会)

市教委だよりNo.113 発行／川越市教育委員会教育総務課 TEL (224) 6074 (直通)